

学発番号: 学18-40

研修会名: 南部研修会「業務に役立つ、人体構造と細胞のはなし」

日時: 2018年6月16日(土)14:30~16:30

場所: 宇治徳州会病院 4階 研修室

演題①: 体腔液検査と髄液検査について

講師①: 藤井 宏哉 技師(株式会社ファルコバイオシステムズ)

演題②: 尿沈渣、細胞診、超音波検査等に役立つ人体構造及び細胞の話

講師②: 江口 光徳 技師(宇治徳州会病院)

参加数: 総数22人(京臨技会員20人)

報告者: 橋本 行正(京都山城総合医療センター)

以下、講演内容など

細胞検査に興味をもたれている技師はもちろん、生理機能検査や他の業務に従事されている技師でもわかりやすく、すぐに業務に役立てるような内容の研修会を企画開催しました。演題①においては、体腔液検査と髄液検査について基礎的な検査内容から、メイ・ギムザ染色での鏡検像と細胞の見方に至るまでの重要ポイントや注意点について講演いただきました。演題②では、人体構造から組織の特徴、癌の好発部位、構成細胞について等を講演いただきました。参加された細胞検査士を目指す技師にも役立ちますが、若手技師にも細胞検査について興味を持って頂ける講演内容でした。また、人体構造の基礎的な話などは生理機能検査や他の業務に従事されている方にも役立つ内容であったと思います。今後も様々な分野の技師が参加できる研修会を企画していきたいと思います。